



㊤演目中、壇上から降りて観客と握手を交わす  
㊦笑い声の絶えない客席  
㊧最後はみんなでバンザイをして、ステージは締めくくられた



### 笑いでみんな元気に 敬老上方お笑いオンステージ

65歳以上を対象とした敬老事業「敬老上方お笑いオンステージ」は9月13日、文化センターで開催されました。

ステージは、漫才コンビ「ベビィリッチ」の漫才でスタート。その後、西高柳出身「桂三幸」、大御所「笑福亭鶴松」が上方落語、そして、松前町が生んだ大スター「横山たかし・ひろし」が漫才を披露しました。多彩な演目に会場の笑いは絶えず、最後はみんなで元気よくバンザイをして締めくくり、大盛況のうちに終了しました。

参加した猪口好子さん、古川峰子さんは、「最高でした」と二人が顔を見合わせてにっこり。「もっと聞きたかったし、これで2、3年は長く生きられると思います」「横山さんの漫才がよかったです」と、満足そうに話していました。

㊤かわいいおたたさんによる踊りでスタート  
㊦啓発グッズを配布  
㊧ポスターの報告。新たに「家の前に貼りたい」と申し出る人も



### 広がる安全なまちづくり 第6回おたたさんで交通茶屋

「第6回おたたさんで交通茶屋」は9月20日、エミフルMASAKIで行われ、多くの家族連れが訪れました。

松前小学校児童による「おたた雨乞い踊り」でスタートした同イベントでは、昨年、松前町交通安全推進協議会委員が制作した「交通安全×まちのPRポスター」の広がりについて報告。飲食店や町外の観光施設でも掲示され、安全なまちづくりとまちのPRの思いが共に、広がっていることをアピールしました。

その後、おたたさんに扮した同委員・交通安全指導員・松山大学学生による交通安全グッズの配布が行われ、訪れた人々に「事故に遭わないよう気を付けましょう」と交通安全を呼び掛けました。



### 大規模地震に備えて

㈱愛亀と捜査調査業務に関する協定を締結

災害や水害時に備え、松前町と㈱愛亀は9月9日、「災害時における捜査調査業務に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害や水害時に暗渠(地下の水路)内の行方不明者などの捜査を行うときに、同社が所有するTVカメラシステムを利用して、迅速な調査を行うことを目的に締結されました。町役場で調印式があり、西山周代表取締役社長は「この技術が防災の観点でも役立てれば」と話していました。



㊤握手する白石町長(左)と西山代表取締役社長(右)  
㊦締結後のデモンストレーションの様子



### みんなで子育てについて学ぼう

「笑顔の種まきリレー講座」がスタート

「笑顔の種まきリレー講座」は9月13日、小富士保育所で開かれました。

この講座は、子育ての喜びや幸せを実感できるように、子育てに関する講演などをリレー形式で行っていくものです。第1回目の今回は、特別支援教育士スーパーバイザーの渡部徹さんが「手つなぎ子育て」と題し、子どもと共に手を取り合い子育てをしていく大切さを講演しました。

参加した武智倫子さん＝中川原＝、西村梓さん＝大溝＝は「人と比べるとではなく、子ども自身を見るのが大切なことが分かった」「今までイライラしていた原因が分かり、気が楽になりました」と笑顔で話していました。

講座は全7回で、今後残り4回開催される予定です。

※講座に興味のある人は福祉課児童福祉係(☎985-4114)まで。



### 元プロが松前で熱い指導

工藤公康さん、秋田豊さんのスポーツ教室

プロ野球OBの工藤公康さんと元サッカー日本代表の秋田豊さんによるスポーツ教室とトークイベントは9月20日、松前公園で行われ、町内の小中学生ほか、多くのファンが訪れました。

午前中に行われたスポーツ教室では、工藤さんはピッチングや走塁の方法、秋田さんはパスやドリブルなどを手取り足取り指導。一緒に試合形式でプレーしたり、元プロの球をバッティングできたりする機会もあり、参加した子どもたちは元プロの高い技術を肌で感じていました。

午後から行われたトークイベントでは、2人が子どものころから現役時代、現在に至るまでの話を披露しました。工藤さんから「人にやらされるのではなく、どうやったら上手くなるか自分で研究すること」、秋田さんから「負けた原因を知って、それを練習して上になっていこうとする」と話が語り掛けられました。

参加した加藤美咲ちゃん＝中川原＝は、「秋田選手に背中を叩いてもらって、一緒にプレーができたのがうれしかったです」と満足そうに話していました。



㊤秋田さんのボールを懸命に追うサッカー少年  
㊦工藤さん自ら投球  
㊧ピッチング法を熱心に指導する工藤さん  
㊨トークイベントの様子